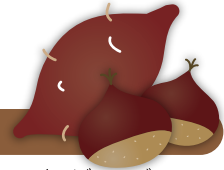


栄養管理室

栗きんとん



作り方

- ① さつまいもは輪切りにして厚めに皮をむき、水にさらす。水がにごってきたら、数回、新しい水に取り換えて1時間おく。
- ② ①のさつまいもをたっぷりの水でサッと下ゆでして、ざるにあげる。
- ③ くちなしの実は割って、お茶用パックに詰めておく。
- ④ ふたたび鍋に②のさつまいもとかぶる程度の水、④、くちなしの実を入れて火にかけ、竹串がとおるまで煮る。
- ⑤ やわらかくなったら湯を捨て、くちなしの実を取り出す。火にかけて水分をとばし、マッシャーでつぶす。
- ⑥ 栗の甘露煮のシロップを入れ、弱火にかけ練り上げる。甘みが足りなければ、シロップかみりんを足す。
- ⑦ 栗を加えて混ぜ合わせ、火を止めてバットに移して冷ます。
- ⑧ ⑦を8等分シラップで包み茶巾の形にする。
- ⑨ 皿にのせて出来上がり。

材料名	分量(8個分)
さつまいも	200g
砂糖	小さじ1
塩	少々
くちなしの実	1個
栗の甘露煮	8個
甘露煮のシロップ	大さじ2杯

〈栄養量(1個当たり)〉 エネルギー:64kcal、たんぱく質:0.5g、食物繊維:0.9g

外来

三愛病院 外来担当医表

令和6年1月4日更新

【受付時間】【午前】8:30～12:00 【午後】12:00～17:00(※小児科火曜以外17:30まで)(※整形外科:森田医師のみ11:30まで)
 【診療時間】【午前】9:00～12:30 【午後】13:30～17:30(※小児科は15:00より)(※小児科:上村医師のみ16:30まで)

※小児科以外は予約制です。予約優先のため、予約外の患者さんはお待たせすることがあります。
 ※休診等変更がありますので、詳細は受付でご確認ください。

診療科	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	
内科	1診	中村 寿宏 (糖尿病外来)	小野寺 真智	中村 寿宏 (糖尿病外来)	細木 秀美 (肥満外来)	坂本 賢司	森下 美智子 (リウマチ膠原病)	中川 治	森下 美智子 (リウマチ膠原病)	中村 寿宏 (糖尿病外来)	品原 正幸	坂本 賢司
	2診	上村 千鶴子	品原 正幸	安田 早佑理 ～17:00まで		津下 典子 大原 慶斗 交代	上村 千鶴子 ～16:30まで	小野寺 真智	廣瀬 友佳	寺田 潤紀	吉本 龍太郎	岩崎 泰正 担当医 交代
内視鏡			小野寺 真智		小野寺 真智							
循環器内科	西本 美香											
整形外科	南場 寛文 9:30～				森田 稷二 9:00～				森田 稷二 9:00～			泉 仁 9:30～
小児科	橋詰 稔 13:30～15:00予防接種 (予約制)		上村 智子・前田 美咲 交代 13:30～15:00予防接種 (予約制) ※上村医師は診療16:30まで		橋詰 稔 13:30～15:00予防接種 (予約制)		橋詰 稔 13:30～15:00乳児健診 (予約制)		橋詰 稔 13:30～15:00予防接種 (予約制)		橋詰 稔	
耳鼻咽喉科	横島 悦子				横島 悦子		横島 悦子		横島 悦子		高知大学医師	
皮膚科	安井 喜美			安井 喜美 14:00～	安井 喜美				安井 喜美	安井 喜美 14:30～ (第3週15:00～)	池田 光徳	
泌尿器科				山本 志雄					山本 志雄			
精神科 (完全予約制)							森田 啓史					
放射線科	岩井 智郎	岩井 智郎	岩井 智郎	岩井 智郎	岩井 智郎	岩井 智郎	岩井 智郎		岩井 智郎	岩井 智郎	岩井 智郎	
健診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		担当医		担当医			

☎ 088-845-5291

広報誌

せんだん便り

2024 冬号 vol.161

発行: 社会医療法人仁生会三愛病院
印刷: 近森書写堂

<http://www.sanai-hospital.jp/top/>

社会医療法人 仁生会

三愛病院 あうん高知

三愛病院 ☎ 845-5291 グループホームいろは丸 ☎ 846-0168 高知市布師田一宮地域包括支援センター ☎ 845-6382
 あうん高知 ☎ 846-1515 デイサービスいろは ☎ 846-1681 訪問リハビリテーション三愛 ☎ 845-5291
 FAX 共通 ☎ 845-5611 居宅介護支援事業所「一宮」 ☎ 845-7107 介護医療院さんあい ☎ 845-5291
 各部署にお気軽にお問い合わせ下さい。

三愛病院・介護医療院さんあい

1月15日より、面会が月2回になりました。

これまで、月1回オンライン面会を基本としていましたが、
 令和6年1月15日より月2回までの対面式面会ができるようになりました。

面会可能日時

※原則、面会日の前週までに要予約(予約受付時間: 月曜～金曜 10時～16時)

平日 ①14:00～ ②14:30～ ③15:00～ ④15:30～
 土曜日 ①10:00～ ②10:30～
 面会時間 1回15分以内 (1患者様につき、1ヶ月に2回まで)

面会者は原則、中学生以上・2名までとさせていただきます。



面会方法

- 受付で面会に来られたことをお伝えください。受付職員が病棟に連絡します。受付で検温と手指のアルコール消毒をお願いします。
- 病棟に上がられましたら、必ず詰所で面会簿にご記入ください。
- 面会時間中は、ご家族様・患者様共にマスクを着用のまま面会をお願いします。
- 患者様の体調不良等で中止する場合がありますので、ご了承下さい。

以下のような場合には面会キャンセルをお願いいたします。

- 体調がすぐれない。
- ご自身が新型コロナやインフルエンザ感染症の陽性者になった(10日間以上経過してからの面会になります。)
- 身近に新型コロナやインフルエンザ感染症の陽性者が出た、または濃厚接触者になった(7日間以上経過してからの面会になります。)

当院には、ご高齢者が多く入院しておられます。感染流行の動向により、面会を中止させていただくことがあります。ご承知をお願いいたします。
 インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染対策のため面会制限は継続となりますが、ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

あうん高知(通所)

『食べたい』の気持ちによりそって!

あうん高知通所リハビリテーション
言語聴覚士 大坪 麻衣
介護主任 三浦 恵子



医療機関への入院がきっかけで食欲低下が始まり「味がしない」「食べたくない」と食べることの楽しみが遠ざかり、口から食べることが難しくなったご利用者との出会いが始まりました。退院後、在宅生活に戻ったタイミングでご利用者は『食べたい』ご家族からも『**食べられる**ようになってほしい』との『希望』をお聞きし、その希望に応えたい!!との思いが言語

聴覚士をはじめ、通所リハビリの職員の気持ちを突き動かしています。

とっかかりは好きな桃のジュースをほんの少量から…他にもココアやレモンティーなどを試しましたが「苦い」や「味がせん」と話され試飲も難航。もしかすると、ひさしぶりに口にするため味覚や嗅覚が弱っているのではないかと考え、舌苔(舌の上が白くなる状態)も見られたため、来所時からの口腔ケアやジュース・補食食品(ムース)を食べる前に、においを確認していただく、家族様に口腔保湿ジェルを依頼するなどを試みました。

すると「最近、においがする」とうれしい言葉が聞かれ始め、補助食品(ムース)も食べる量が少しずつですが増えてきました。目標は、好きな「おすし」と「うなぎ」が**食べられる**こと!!在宅生活を送りながら、家族様と一緒に食事を囲む「おいしいね」とお互いがにっこり微笑む姿を想像しながら、日々リハビリに取り組んでいただいています。



食欲低下やむせ込みなど気になる方は、ぜひお気軽に相談・お問い合わせください。あうん高知通所リハビリテーションと一緒に食べるリハビリをしましょう!!

言語聴覚士の仕事の一つとして、「**食べる**」を**支える**という役割があります。具体的には、主治医の指示を受け、**口を動かす・飲み込む力**がどのくらいあるのか評価し、その方の能力に合わせた**食事の柔らかさや形**を提案します。また、その方の「食べたい」を叶えるために、**口や喉の力を強化**

する訓練を行い、**安全に食べられる方法**をご本人様や家族に伝えることをしています。主治医や看護師、その他の職員と相談をしながら**その方に合った方法**を模索、提案しています。



介護医療院「さんあい」便り

介護医療院さんあいは、地域や家庭との交流機会の確保や患者さんの日常生活動作の維持・向上を目的に外出レクリエーションを行っています。

12月25日クリスマス会を行いました。

サンタクロースに扮装したスタッフが入所者さんの所を回り、入所者さんにもサンタ帽をかぶってもらい写真撮影を行いました。照れくさそうな笑顔を浮かべられる方もいました。クリスマスケーキも美味しいと笑顔で食べられて、クリスマスの雰囲気を楽しんでいただくことができました。



放射線室

三愛病院(放射線科、放射線室)で行っている検査

一般撮影検査、消化管造影検査、X線CT検査、超音波検査です。

検査の内容としては、一般撮影検査(X線で撮影した画像、主に肺の異常陰影や骨の骨折、変形、副鼻腔などの膿の溜まり具合などが分ります。)消化造影検査(バリウムを使用した胃の造影検査です。)、X線CT検査(主に頭部、胸部、腹部、副鼻腔など)は平面的な一般撮影と違い、撮影した横断画像データから任意の画像(冠状断像、矢状断像など)を作成する事ができます。一般撮影検査では分かりにくい病変の発見や、病変の大きさ形、病変内部の石灰化や脂肪なども分るため、診断に役立っています。超音波検査は超音波を使って、頸部(甲状腺や頸動脈)、腹部(肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓、膀胱など)の病変が分ります。

放射線科、放射線室

職員は放射線科医師1名と診療放射線技師2名の3名で仕事をしています。主に画像の診断を行っているのが放射線科の医師で、撮影を担当しているのが診療放射線技師です。患者さんや地域の方々の、病気の発見や診断、治療、健診で少しでもお役に立てるように努めていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。



検査の内容や放射線について何か相談があれば気軽にお申し出ください。